

[斑鳩産業株式会社（地域DMO）ビジョン]

観光地域 づくり法人 (DMO) とは

観光地域づくり法人（DMO）は、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定し、着実に遂行する機能を備えた法人です。

地方誘客及び旅行消費拡大を持続可能な形で推進する上で、地域のさらなる魅力向上や受入環境整備など、「観光地域全体のマネジメント」の取組をDMOが主体となって行なうことが期待されます。



DMOにおける 活動の意義

活動拠点

世界文化遺産「法隆寺」
のある斑鳩町を中心と
した周辺エリア

地域 課題

人口減少、少子高齢化、
市場規模の縮小、地域産業の衰退、地域コミュニティの弱体化など

観光の力で

社会的事業者としての ビジョン

地域の課題解決に貢献する社会的事業者として社会的
利益を生み、地域経済を循環させる民間企業として経
済的利益を生むために存在し、次世代に魅力ある地域
を引き継ぎます。

観光を通じて

単に観光客数を増加させ、旅行消費額を向上させることが目的ではなく
**シビックプライドを醸成し
次世代に魅力ある地域を引き継ぐ**

DMOの活動内容

①斑鳩町の魅力創出 着地型旅行商品の企画・造成・販売



②観光客の受け入れ態勢の充実

・奈良斑鳩ツーリズムWaikaru
(奈良県知事登録第二種旅行業者2-214号)

・一棟貸の宿いかるが日和（民泊）

・和CAFÉ布穀園

(竜田揚げ発祥の地斑鳩名物竜田揚げ)

・フェリーチェ・ピッチャーネ
(イタリアン)

・庭カフェ

(日本酒発祥の地「奈良」利き酒体験テイクアウト)

・まほろばステーションikarucoki

(複合施設 アンテナショップ土産物店 カフェ 写真スタジオ)



③斑鳩町内のステークホルダーと合意形成

・体験先・旅行エージェント・大企業との連携

・斑鳩町観光戦略実務者会議

・斑鳩町観光推進連絡調整会議

・斑鳩町総合計画審議会委員

・斑鳩町商工会理事・観光委員長

・中宮寺（国宝）幹事

④周辺地域との連携の事務局

・1市8町から構成される

「WESTNARA広域観光推進協議会」の事務局

(大和郡山市・平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・上牧町・王寺町・広陵町・河合町)

・「ならSLOW&LOOP協議会」の副会長

DMOとしてマネジメント

JR大和路線・JR和歌山線・JR万葉まほろば線の3路線を環状線のように繋ぎ、観光客集客の起爆剤となるために設立。JR西日本・奈良市商工会議所・奈良県が主となり、沿線自治体（奈良市・大和郡山市・天理市・香芝市・橿原市・桜井市・大和高田市・斑鳩町・王寺町）および沿線観光協会・沿線商工会が構成員。



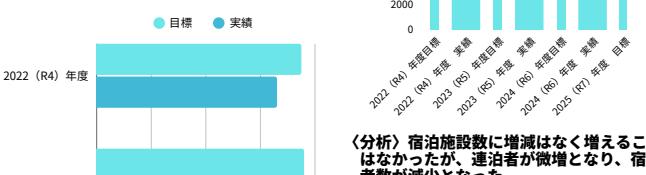
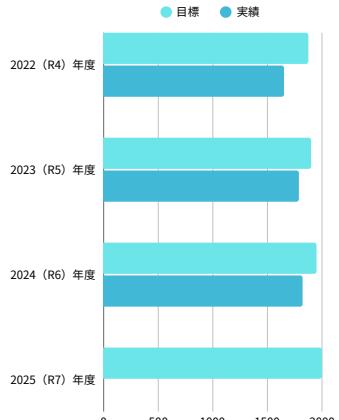
DMOの活動成果

- ①体験ツアー60プラン
- ②地産地消のメニューJALと連携した、かき氷の販売
- ③体験先（社寺・民間事業者・農家など）50社と連携
- ④旅行エージェント・大企業30社と連携
- ⑤WESTNARA広域観光推進協議会にて
 - ・年間10回の会議を開催
 - ・合意形成のための会議を年間5回開催
 - ・プロモーション事業、旅行商品の造成
 - ・イベントの開催、人材育成を実施
 - ・ならSLOW&LOOPでは、プロモーション事業、イベント、マルシェなどを開催



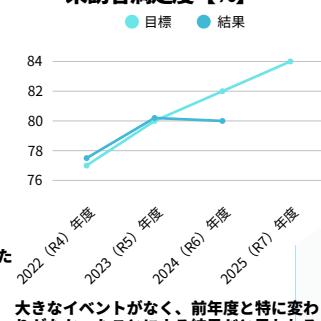
KPIの達成状況

旅行消費額【円】 (一人当たり単価)



〈分析〉宿泊施設数に増加はなく増えることはなかったが、連泊者が微増となり、宿泊者数が減少となった

来訪者満足度【%】



〈分析〉光熱費や物価の高騰により飲食店・土産物店等の価格改定があった

大きなイベントがなく、前年度と特に変わったことによる結果だと思われる

次年度の事業計画

2026
(R8年度)

2027年度事業計画

- ①国内・海外プロモーションの強化
- ②体験ツアーのプラスアップ
- ③地域の観光事業者との合意形成
- ④斑鳩町と連携した「法隆寺門前会議」の開催
- ⑤WESTNARA広域観光推進協議会の運営
- ⑥その他、関係機関・関係団体との連絡調整
- ⑦斑鳩町内の社寺との連携強化

次年度の KPI目標設定

旅行消費額【円】
(一人当たり単価)

延べ宿泊者数
【人泊】

来訪者
満足度 [%]

2,200

17,100

86

観光に対する
住民満足度 [%]

月別来訪者数
の平準化率 [%]

50

現在策定中